

IT導入補助金活用 DX導入提案

～持出しぜロで進める業務効率化・デジタル化～

法人向け

中小企業向け

2025年度対応

法人・中小企業向け支援プログラム 2025

M'sworld 株式会社

IT導入補助金活用によるビジネスDXシステム導入提案の概要をご説明します

1 背景と課題

3 補助金制度の詳細

5 システム主要機能

7 導入プロセス

9 対象企業・条件

11 導入で得られる効果

2 提案の目的とメリット

4 システム概要

6 支払い/コストスキーム

8 必要書類と契約

10 サポート体制

12 まとめ・質疑

背景と DX 化の課題

デジタルトランスフォーメーション（DX）の急速な普及

近年、ビジネス環境のDX化が加速しており、対応できない企業は競争力の低下や取引機会の損失リスクに直面しています。

人工知能（AI）技術の活用機会の拡大

AIによる業務効率化・自動化が進み、導入企業と未導入企業との生産性格差が急速に拡大しつつあります。

電子帳簿保存法の対応義務

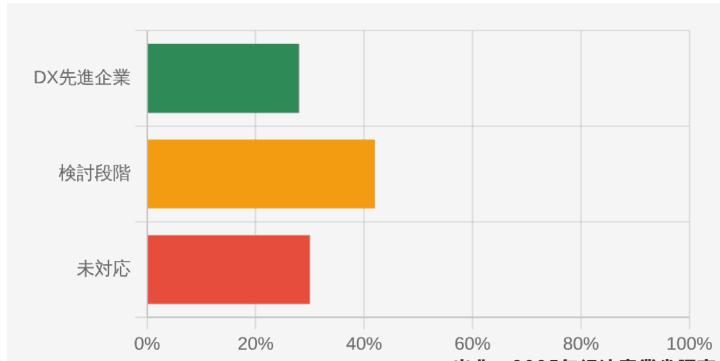
2024年1月完全義務化

電子取引データの電子保存が完全義務化され、猶予措置が終了。すべての事業者が対象となり、早急な対応が必要です。

対応遅れによるリスク

- 税務調査時の書類提出義務違反
- 適切な保存要件未達による推定課税リスク

DX推進状況 - 日本企業の現状



出典：2025年経済産業省調査

2025年の崖による経済損失

約12兆円/年

初期投資の負担と資金繰りの課題

特に中小企業においては、導入コストと投資回収の見通しが不透明であることがDX推進の障壁となっています。

DXシステム導入による解決



電子帳簿保存法対応



リスク回避



補助金活用

提案の目的とメリット

IT導入補助金を活用した「持ち出しぜロ」でのDX実現

補助金制度と融資スキームを組み合わせることで、初期投資の負担なくDXシステム導入を実現します。

業務効率化と生産性向上

受発注・決済・書類管理の一元化により、業務プロセスを効率化し、人為的ミスを削減。経営判断の迅速化を支援します。

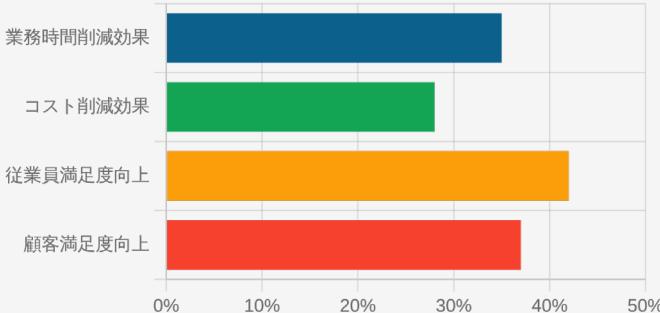
DX人材の育成と組織力強化

システム導入を通じて社内DX人材を育成。デジタル時代に対応できる組織基盤の構築を支援します。

国の制度活用による安心・安全

経済産業省の認定制度を活用し、信頼性の高いベンダーと確実な導入プロセスで、DX推進リスクを最小化します。

DX導入によるビジネス効果



※導入企業平均値（2025年調査）

？ DX導入のポイント

- 補助金と融資を組み合わせた「持ち出しぜロ」の実現
- 電子帳簿保存法対応を含めた法令遵守の強化
- 業務プロセス全体の見直しと最適化
- 段階的な導入と社内教育の並行実施

IT導入補助金（インボイス枠）制度詳細

IT導入補助金制度



中小企業支援

持ち出しゼロ
0円

補助率
2/3または3/4

立替・融資スキーム

申請サポート

- ✓ 経理証憑等の提出書類作成支援
- ✓ 申請から補助金交付までの伴走支援



インボイス対応IT導入

2023年10月施行のインボイス制度に対応したIT導入を支援



最大補助率 4/3

中小企業は最大で費用の4/3まで補助金として交付



立替/融資スキーム

補助金交付までの費用を立替または融資でカバー



完全持出ゼロ

当社独自スキームで企業の実質負担なしでDX導入

キャッシュフローのポイント

- 導入時の現金支出なし
- 補助金交付後の精算システム
- 審査～交付まで約2～3ヶ月

ビジネスDXシステム 機能概要

主要機能一覧

発注書を新規作成する

リアルタイム経営可視化ダッシュボード

見積/受発注管理

見積書作成から受発注までをシームレスに一元管理



納品/請求書管理

納品状況の追跡と請求書発行をクラウドで一元化



売上・入金分析

期間別・顧客別の売上推移をグラフ化して可視化



未入金・入金済み管理で資金繰りを効率化

その他の機能

① 顧客情報データベース

② モバイル対応インターフェース

③ セキュアなクラウドストレージ

ビジネス DX システムの概要

① 業務全体のデジタル化

受発注管理・顧客管理・決済請求処理など、一連の業務プロセスをシームレスにつなぐ統合管理システムを実現します。

業務効率化

ペーパーレス

② クラウド一元管理とセキュリティ

見積書・発注書・納品書・請求書などの重要書類をクラウド上で安全に一元管理。いつでもどこからでもアクセス可能です。

データ保護

リモート対応

③ 経営状況のリアルタイム可視化

売上分析・入金管理・売上比率などをダッシュボード上でグラフィカルに表示。経営判断に必要な情報をリアルタイムで確認できます。

データ分析

意思決定支援

④ 柔軟なカスタマイズと拡張性

多様なビジネスモデルや業種に対応した柔軟なシステム設計。企業の成長に合わせて機能拡張も容易です。

API連携

スケーラビリティ



顧客管理機能

- 法人・個人別管理で最適な営業対応
- 担当者別管理で個別対応実現
- 支払条件別別定で入金管理効率化

在庫管理機能

- 商品マスター一元管理でJANコード・価格統合
- 出入庫履歴管理で在庫変動を透明化
- 需要予測と適正在庫維持をサポート

書類管理機能

- 見積→発注→納品→請求のワンクリック変換
- PDF一括出力で郵送業務効率化
- 送付/入金ステータス管理で連携透明化

ダッシュボード機能

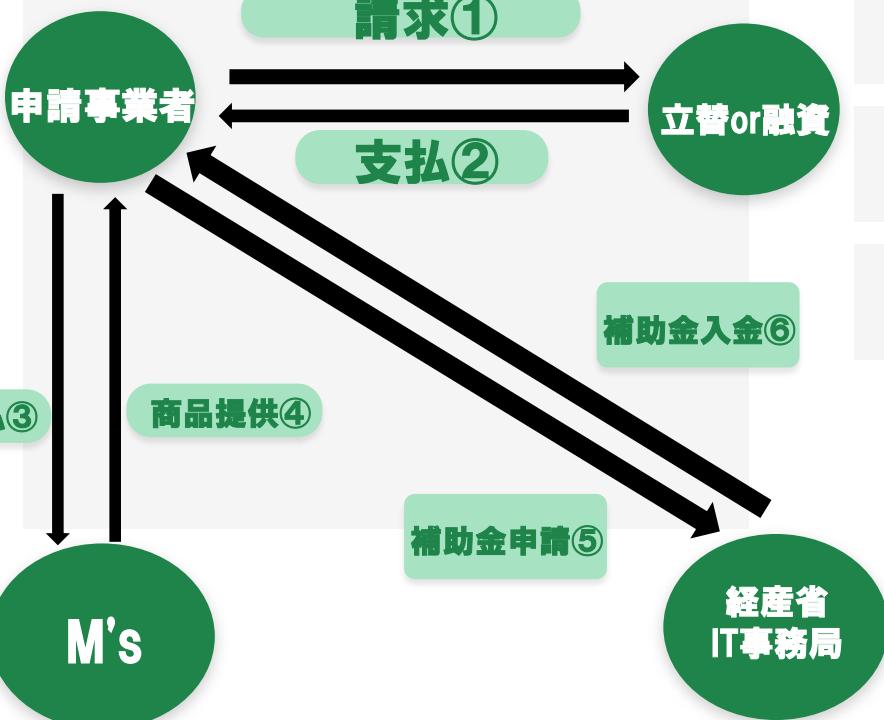
- 売上高・前期比較・目標達成率をグラフ表示
- 顧客別売上比率で重要取引先を把握
- 未送付請求書アラートで請求漏れを防止

IT導入補助金適用対象

ペーパーレス化と
業務効率化を同時に実現

支払い・コストスキーム

支払スキーム



補助金比率
対象経費の3/2～4/3まで補助



立替スキーム
補助金交付までの期間を当社が立替



融資オプション
自己負担分も融資制度で対応可



書類代行
申請～実績報告までの書類作成支援

キャッシュフローのポイント

導入時の現金支出なし
補助金交付後の精算システム
審査～交付まで約2～3ヶ月

※①役務契約を法人ごとに計上

導入プロセス・スケジュール

① 基本スケジュール

IT導入補助金の申請から補助金受領までの基本的な流れを把握し、計画的な導入を行うことが重要です。各ステップには必要な書類と手続きがあります。



契約・申込み

売買契約書の締結、紹介契約書・債権債務確認書・立替同意書など関連書類の準備と提出

1週間以内



申請書類作成

経費明細・見積書・納品計画書等の書類作成、IT導入支援事業者によるサポート、申請内容の確認

7~14営業日



申請提出・審査

補助金事務局による審査、不備対応、採択・交付決定通知の受領

4~6週間



システム導入・運用開始

システムの導入設定、初期データ登録、操作トレーニング、本格稼働開始 2~4週間

導入完了までの目安

曲

最短3~4ヶ月

申請開始から補助金受領まで

申請準備

2~3週間

審査期間

4~6週間

導入・運用

2~4週間

交付・精算

4~6週間

重要ポイント

① 申請受付は締切日前に予算上限に達する可能性があります

② 書類に不備があると審査が長引くことがあるため、専門家のサポートを活用しましょう

必要書類と契約について

■ 買賣契約書

IT導入補助金の申請に必要な正式な契約書類です。補助金申請の基礎となる重要書類として、詳細な導入内容と金額を明記します。

■ 紹介契約書（代理店/紹介者）

代理店または紹介者経由での申請の場合に必要となる書類です。役割と報酬について明確に定義します。

■ 債権債務確認書・立替同意書

補助金交付までの費用立替や融資スキームを利用する場合に必要となる書類です。補助金交付後の資金の流れを明確にします。

■ 見積書・請求書・納品報告書

導入するシステムやサービスの正確な内容と金額を証明する書類です。すべて補助金制度の要件に準拠した形式で提出する必要があります。

書類作成・提出の流れ

必要事項の収集

企業情報、導入システム要件の確認

書類作成支援

各種契約書・申請書類の下書き作成

内容確認・調整

法的要件・補助金規定への適合性チェック

契約締結・提出

押印・署名と電子申請のサポート

安心のサポート体制

書類作成から申請手続きまで、専門家による伴走型サポートで、複雑な手続きをスムーズに進めることができます。

申請書類作成の主なポイント

補助金要件に準拠した正確な記載

必要な添付書類の漏れがないか確認

申請期限の厳守

不備があると審査が長引くことがあるため、専門家のサポートを活用

対象となる企業例・条件

法人・個人事業主の基本条件

1期以上の決算・確定申告を完了していること。新設法人の場合は設立後、一度決算を迎えた後に申請可能です。

中小企業の定義に合致

資本金・従業員数が業種ごとの中小企業基準内であること。大企業の子会社など資本関係で除外される場合があります。

DX推進・業務効率化の目的

新規事業立ち上げやDX推進による業務効率化を実現するシステム導入が補助対象となります。

申請時の注意点

必要書類（確定申告書・決算書等）の準備、経理証憑の提出、申請後のシステム導入報告が必須となります。

個人事業主必要資料

- ✓ 確定申告書
- ✓ 青色収支計算書
- ✓ 身分証明書（運転免許証または住民票）
- ✓ 所得税納税証明書その2
- ✓ GbizIDプライム

法人必要資料

- ✓ 直近期決算書（貸借対照表・損益計算書・勘定科目内訳書）
- ✓ 登記簿謄本（履歴事項全部証明書）
- ✓ 代表者身分証明書
- ✓ 法人所得税納税証明書その2
- ✓ GbizIDプライム

対象企業 適格性チェック

- | | |
|--------------------------------------|----------------|
| ✓ 1期以上の決算・確定申告完了 | ✓ 中小企業・小規模事業者 |
| ✓ インボイス制度対応 | ✓ 新規クラウドサービス導入 |
| ✖ 対象外となる例：
大企業、過去の類似補助金で不正があった事業者 | |

まとめ・質疑

✓ 企業負担を抑えてDX化推進の最大のチャンス

IT導入補助金（インボイス枠）の活用で、実質持出しぜロで業務効率化とデジタル化を実現できます。

thumb 本日のポイント

補助率3/2または4/3の助成制度、立替・融資スキーム、クラウド一元管理型ビジネスDXシステムで業務効率が飛躍的に向上します。

⌚ 最適な導入タイミング

現在が補助金制度活用の絶好のチャンスです。早期申請で確実に補助金を確保しましょう。

📞 導入サポート窓口

📞 090-9839-4649 (平日9:00-18:00)

✉️ info@ms-world.net

✉️ 無料相談・お見積り依頼はこちら



ご質問を受け付けます

以下のよくある質問と回答をご参考ください

② 補助金はいつ受け取れますか？

申請から約2~4ヶ月後、実施報告の審査完了後にお振込まれます。

③ 導入までに必要な準備は？

基本的な企業情報と決算書類のみ、その他は全て弊社がサポートいたします。

④ 導入後のサポートはありますか？

はい。操作方法から運用相談まで、包括的なアフターサポートをご用意しています。

💡 その他ご不明点はお気軽に問い合わせください